

## 和歌山県地域公共交通計画（素案）に対する意見募集結果と御意見に対する県の考え方

【募集期間】令和5年12月20日（水）から令和6年1月18日（木）まで

【意見募集方法】郵便、ファックス、電子メール

【募集結果】4者11件（うち計画素案の内容に直接関係のない御意見1件）

※ページは、パブリックコメント実施時の計画（素案）のページになります。

番号	関係箇所	御意見の概要	御意見に対する県の考え方について
1	計画素案 85 ページ 6-2 本県の地域公共交通ネットワークの位置づけ  計画素案 108 ページ 施策 3-4 各種関係機関との連携と必要な支援の実施	<p>計画の全体像の中で、幹の部分(鉄道)の維持・利用促進は言及されているが、強靱化に関して言及がない。</p> <p>鉄道に関して、洪水や津波による被災・断線・流失のリスクを防止するため、橋梁の嵩上げや線路の路盤嵩上げ等、路盤機能の部分的な強化改造を計画的に行い、非常時の機能維持と、その後の維持・利用促進を合わせて考えるべき。</p> <p>県として公共交通計画にこういうことを含めるなど、検討できないか。</p>	<p>ご意見をいただいた鉄道の強靱化に関しては、各事業者が策定する防災業務計画等に基づき、施設等の災害予防や災害時の応急対策等の取組が実施されているところですが、広域的な対応が必要となる公共交通については、事業者だけでなく、県、市町村、関係機関も連携し取組を推進してまいります。</p>
2	計画素案の概要 4 ページ 基本方針 3 に基づく施策 3-1①、3-2④	<p>子供の時から乗る経験をして是非楽しさを知って欲しい。人々に外出してもらいましょう。</p>	<p>素案 104 ページの「公共交通を守り・学ぶ意識の醸成」や 106 ページの「公共交通の利用促進に向けた取組の推進」に記載のとおり、様々な施策を通じて、公共交通を学ぶ機会の提供や利用促進等に関係者と連携し取り組んでまいります。</p>
3	計画素案 104 ページ 公共交通を守り・学ぶ意識の醸成 ①公共交通を知る、学ぶ機会の提供	<p>特に小学生には教育委員会と連携し、総合学習の場を活用した取り組みを積極的に進めるよう提案。</p>	

番号	関係箇所	御意見の概要	御意見に対する県の考え方について
4	計画素案 87 ページ 施策 1-1 バス路線維持のための継続的な支援	鉄道については言及されていないが、地域公共交通の一環を担い厳しい状況にある鉄道についても、支援策を検討して記載すべき。	素案 106 ページの「施策 3-2 公共交通の利用促進に向けた取組の推進」に記載の施策など、鉄道を含む公共交通を維持するための利用促進策等について幅広く検討し、効果的な取組を推進してまいります。
5	計画素案 95 ページ 施策 2-3 人と環境にやさしい公共交通の整備 ②鉄道駅のバリアフリー化の推進	3,000 人以上で唯一未整備の和歌山電鐵和歌山駅について、3,000 人以上の鉄道駅が全部整備済となるよう早期に実施されたい。	素案 95 ページの「施策 2-3 人と環境にやさしい公共交通の整備」に記載のとおり、利用者が 2,000 人／日以上以上の鉄道駅について、バリアフリー化を推進してまいります。
6	計画素案 106 ページ 公共交通の利用促進に向けた取組の推進	ノーマイカーデーの取組みを実効性のあるものにするため施策の強化を提案。 具体的には、 ①まず行政の率先実行 ②モデル企業を募り優秀企業の表彰	素案 106 ページの「施策 3-2 公共交通の利用促進に向けた取組の推進」に記載の施策に限らず、必要に応じて新たな施策を検討するなど、利用促進につながる効果的な取組を推進してまいります。
7	計画素案 106 ページ 公共交通の利用促進に向けた取組の推進	運転免許返納者への優遇策について、利用割引の拡大等の施策充実を提案。 実施に当たっては、事業者のみが負担する事の無い様検討を進められたい。	
8	計画素案 106 ページ 公共交通の利用促進に向けた取組の推進	特に公共交通利用無料デーを交通事業者との協議を進め、早期に実証実験を実施することを提案	

番号	関係箇所	御意見の概要	御意見に対する県の考え方について
9	素案 114 ページ 9-2 計画の推進方法	計画を実効性のあるものとするため、毎年度進捗状況の点検を行い、また見直しを行ないながら計画実現に努めていただきたい。	素案 114 ページに記載の推進方法により、施策メニューの実施状況や目標の達成状況を定期的に確認し、必要に応じて施策や目標の見直しを行ってまいります。
10	素案 104 ページ 基本方針 3	計画（素案）を早期に決定計画とし、タイムテーブルを作ってください、1年目に実施すること、2年目に実施することなどを決定し、5年目に完成となる事業にしてください。計画を計画に終わらせないで、現実のものとして下さい。	